



前号のおさらい：金のトレンドライン

発行日：2014/1/24



前回1月17日発行のテクニカル分析において、「NY金は転換線が基準線を上回り下降圧力が低下している。またトレンドラインは週足の強いトレンドラインを日足で示したもので、このトレンドラインを突破しない限りは本格的な上昇とはならない」とした。今週に入りトレンドラインに接触しているが、突破するには至っていない。今夜から来週の動きが注目される。

東京金は雲の上で価格が推移しており、NY金の動き次第ではさらに上昇する可能性がある。

TOPICS 平均足とMACD

平均足(コマ足)は、値動きのブレを排除してトレンドをわかりやすく捉えられるようにローソク足に修正を加えた指標で、平均足の見方は、陽線は上昇トレンド、陰線は下降トレンドを表す。

平均足の算出方法は高値・安値はローソク足の高値・安値と同じで、始値と終値の計算方法が違う。始値は(前日始値+前日高値+前日安値+前日終値)÷4、終値は(当日始値+当日高値+当日安値+当日終値)÷4となる。

平均足の注意点として、トレンド継続の途中で平均足が一時的なトレンド転換をすることがある。つまり、平均足に一時的なダマシが起きることがよくある。このダマシを排除するため、その他のテクニカル指標を組み合わせる方法があり、平均足にMACDを組み合わせるとわかりやすい。

例えば、MACDが上昇過程にあるときには平均足が陰転した場合でも、MACDのシグナルがクロスしていなければトレンドが転換と判断しない。つまり、MACDを併用することで、平均足のトレンドが継続しているかどうかの確認をすることができる。

このダマシは押し目買い(戻り売り)のポイントともなるので、是非活用してもらいたい。

TOPICS 金市場を平均足とMACDで見てみよう

NY金はトレンドが定まらない



NY金

NY金は平均足が陽転と陰転を繰り返してトレンドが定まらない。MACDが上昇しているため緩やかに上昇しており、いつ勢いよく上昇してもおかしくはない。

冒頭に記述したように上昇した場合にはトレンドラインの突破があることからここからの上昇は勢いづくことが予想される。

跳ね返された場合でもMACDがデッドクロスするまでは再上昇する可能性もあり売りは控えた

東京金は再度上昇か



東京金

東京金は平均足が陰転したが本日の取引で再度陽転している。MACDも再度上昇してきており、上昇トレンドは継続していると考えられる。

このため、平均足の陽転により調整が完了したことが確認できるので、押し目買いで対処するのが得策だろう。

TOPICSs 他市場はどうか

東京白金は上昇トレンド中の調整となるか



東京白金

東京白金は平均足が陰転しているがMACDはまだデッドクロスしていない。このため上昇トレンドはまだ継続しているものとする。

MACDがデッドクロスしないまま平均足が陽線した際には調整の完了として再度上昇することが予測される。

東京ガソリンは下降トレンド



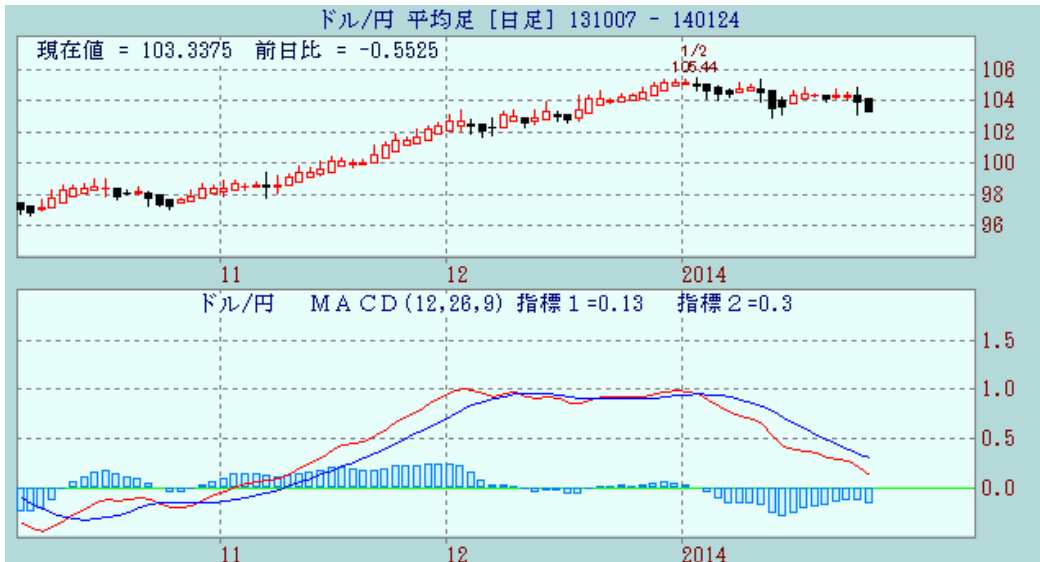
東京ガソリン

東京ガソリンは平均足が陽転しているものの、MACDはゴールデンクロスしておらずまだ下降トレンドは続いている。

平均足が陰転した場合には、下落が再開する可能性が高いだろう。

ドル円は下落トレンド

ドル円



ドル円は平均足が陰転し下落している。MACDが下降トレンドにあるため、陽転してもあまり上昇せず調整で終わり、陰転した際にはしっかりと下落している。MACDがゴールデンクロスしない限りは下降トレンドが続くだろう。

今後の予想

今週は平均足とMACDを利用し分析した。

NY金は平均足ではトレンドがはっきりしないもののMACDは上昇しており、いつ勢いよく上昇してもおかしくはない状況だ。冒頭で記述したトレンドラインの攻防が鍵を握るかもしれない。

東京金はMACDは上昇しており、平均足が陰転していたが今日の取引で再度陽転しており、再度上昇する可能性が高そうだろう。

東京白金は平均足が陰転しているがMACDは上昇しており、まだ上昇トレンドは継続していると考えられる。平均足が再度陽転した場合には上昇トレンドが再開するものと思われる。

東京ガソリンは平均足が陽転し上昇しているが、MACDは下降トレンドを継続中。こちらは平均足が陰転した場合には再度下落トレンドになることが予測される。

ドル円はMACDが下降しており、平均足が陰転した際にはしっかりと下落している。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

発行元：株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス： kondo@commi.cc